

# 令和4年度 教育委員会事務局 運営方針

## I 基本目標

「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」の育成

## II 目標達成に向けた施策 ～すべては子どもたちの未来のために～

「第4期横浜市教育振興基本計画」の策定を見据え、「一人ひとりを大切にした教育の推進」「様々な機関との連携・協働」「客観的な根拠に基づく教育政策（EBPM）の推進」の3つの視点を大切にしながら、事業を推進します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、児童生徒や教職員の安全・安心を第一に、適切な感染症対策を講じながら、児童生徒の充実した学びに資する取組を進めていきます。

### ◇「第4期横浜市教育振興基本計画」の策定を見据えた事業推進

#### 1 一人ひとりを大切にした学びの推進

児童生徒1人1台端末の環境におけるICTの効果的な活用促進や情報教育の充実を図るとともに、グローバル社会で活躍できる人材の育成、魅力ある高校づくりを進めます。また新たな教育センターの開設を見据え、ICTやビッグデータを活用した教育政策の実現に向けた検討・研究を進めます。

<主な事業・取組>

- 教育用ネットワーク回線の増速・安定化、教職員のICT活用指導力の育成（ICTコーディネーター）、学習者用デジタル教科書の試行
- 横浜市学力・学習状況調査及び認知・非認知能力調査研究の実施、新たな教育センターの開設準備
- 小学校高学年における教科分担制の推進
- 英語教育・国際理解教育の充実
- 魅力ある高校教育の推進 など

#### 2 多様なニーズに対応した教育の推進

特別支援教育を一層推進するとともに、医療的ケアが必要な児童生徒の受入体制を充実します。また、日本語指導が必要な児童生徒や就学困難な児童生徒等への支援環境を整えます。さらに、いじめの防止や早期解決に向けた体制の充実とともに、様々な課題に対する相談・支援体制の強化に取り組みます。

<主な事業・取組>

- 特別支援学校に通う児童生徒の通学支援、小・中・特別支援学校等における医療的ケア支援の充実
- 日本語支援拠点施設の運営や新たな拠点施設の設置、国際教室設置、就学援助費や高校奨学金の支給
- 不登校児童生徒への教育機会の確保
- いじめ防止対策推進事業、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー活用事業 など

#### 3 健康な体づくり

選択制の中学校給食（デリバリー型）を実施し、国産比率の向上や地産地消の推進など、食材や献立を充実し、安全・安心で質の高い給食を提供することで給食を教材とした食育を推進します。また、新たに設置した専任体制を中心に、より多くの生徒に中学校給食を届けるための検討を進めます。さらに、引き続き感染症対策を徹底するとともに、児童生徒等の健康の保持・増進や学校保健の推進、児童生徒の体力向上のための取組を推進します。

<主な事業・取組>

- 安全・安心で質の高い中学校給食の提供及び今後の中学校給食のあり方の検討
- 小学校等の給食にかかる管理運営、食育の推進、就学援助等対象者への支援を年間を通じて実施
- ゲーム障害・ネット依存実態調査結果を踏まえた局内プロジェクトチームでの対策検討
- 児童生徒の学びを確保するための感染症対策の徹底
- 体力・運動能力調査を踏まえた健康増進・体力向上の取組の推進、少年自然の家の修繕・設備更新 など

#### 4 教職員に対する取組

誇りや使命感に満ちた信頼される優秀な教職員を確保・育成します。また、「教職員の働き方改革プラン」に基づき専門スタッフの配置拡充や業務改善を進めることで、教職員がやりがいを感じながら、心身ともに健康でいきいきと働くことができる環境を整えます。

<主な事業・取組>

- 少人数学級を見据えた教職員の確保、育児休業代替任期付教員の配置
- 児童支援専任教諭配置に伴う後補充非常勤の常勤化（※国庫負担が入る定数を超えて教職員配置を拡充）
- 個別支援学級や国際教室等の児童生徒数増加に伴う教職員配置の拡充
- 中学校における部活動指導員の配置
- ICTを活用した研修・業務の効率化の推進 など

## 5 市立学校の運営

学校施設の保全を図り、教育環境を維持するための教育機器等を整備します。また、自主的・主体的な学校運営を推進するとともに、地域と学校が連携・協働し、地域の参画のもと学校運営の充実を図ります。

<主な事業・取組>

- 学校運営協議会や地域学校協働活動の推進
- 従来の放課後学習支援に加え、中学校を対象に企業・NPO等が関わる新たな取組を開始 など

## 6 安全・安心な教育環境の整備

老朽化が進んだ学校施設の建替えを進めるとともに、通学区域や学校規模の適正化を進めます。また、学校施設の安全性・耐久性を確保し、良好な教育環境の維持を図るため、効果的な施設の保全に取り組みます。

<主な事業・取組>

- 小・中学校の整備や建替え、エレベータの設置や空調設備更新、体育館への空調設備設置
- 学校施設の計画的かつ効果的な保全、崖地・ブロック塀の対策工事实施、太陽光発電設備設置 など

## 7 市民の豊かな学び

電子書籍などデジタル資料の活用等にも取り組み、市民の豊かな読書活動を推進します。あわせて、市立図書館の将来ビジョンを策定するとともに、図書館施設等の充実及び在り方について検討します。また、「文化財保存活用地域計画」の作成や、博物館等と連携して学習機会の充実を進めます。

<主な事業・取組>

- 電子書籍サービス等の実施、全市的な読書イベント等の開催
- 「文化財保存活用地域計画」の素案を作成し、協議会への意見聴取や市民意見募集を実施 など

# Ⅲ 目標達成に向けた組織運営

## 市民の信頼に応える教育行政の推進

- 各学校の主体的な学校運営を踏まえながら、学校と教育委員会事務局が連携し、必要に応じた支援を積極的に実施
- 校長のマネジメントのもと、教職員や専門スタッフ、地域人材等が目標を共有し、チーム力を発揮して学校を運営
- 教育委員会事務局及び学校における適正な事務処理の徹底をはじめ、リスクマネジメント・内部統制制度を推進
- 教育に関わる公務員であることを自覚し、学び続ける姿勢を持つとともに、児童生徒・保護者及び市民の信頼に応える行動を実践
- SDGsの達成・脱炭素化の実現に向けた学校経営や教育活動の推進
- 財政の持続性を確保しながら、時代に対応した施策を展開していくための歳出改革の着手

## 社会全体で進める教育

- 学校と教育委員会事務局の、家庭や地域、区役所や関係局、関係機関との連携・協働を強化
- 横浜ならではの資産を生かした教育を推進するため、地域や、文化芸術・スポーツ分野などグローバルに活躍する人材や企業とともに子どもたちの学びを創出

## 働き方改革・人材育成の推進

- 教職員がしっかりと子どもたちと向き合うことのできる時間を持てるよう、学校と教育委員会事務局が両輪となり、「横浜市立学校 教職員の働き方改革プラン」の取組を推進
- 長時間労働是正等の観点から、現在の仕事や働き方の見直しを行い、オンライン会議や資料のペーパーレス化といったデジタル化も踏まえ、責任職のマネジメントによる、効果的・効率的な働き方を推進
- 子育てや介護等、様々な事情を抱える教職員や教育委員会事務局職員の家庭と仕事の両立を支援するとともに、男女共同参画の視点にたった人材育成を推進